

南小だより

佐世保市立吉井南小学校

No.17 R. 4. 9. 9 (金)

文責：山口伸一郎

危機管理意識を高めるために…。

予想外の進路をとり、かつ非常に発達しながら九州の西海上を北上した台風11号の影響で、5日夜から6日の明け方にかけて暴風雨が吹き荒れ、6日は市内全小・中学校及び義務教育学校が臨時休校となりました。

一昨年と同様に非常に強い台風が接近し、学校も体育館裏の竹林の大きな竹が折れてしまったり、玄関前のくすの木の枝が多数散乱したりする等、大型台風の爪痕があちこちに残りましたが、今回もその時に近い状況がありました。保護者の皆様のご自宅は、大丈夫でしたでしょうか。

さて、皆さんも感じていらっしゃると思いますが、ここ数年毎年のように「短時間の豪雨(線状降水帯の発生)」、「勢力の非常に強い台風」、「高温多湿による熱中症」等、誰もが厳しい自然条件に留意しながら生活しなければならない状況が増えてきました。これらに加えて、「新型コロナウイルス感染拡大」も加わり、子どもたちも日常生活はもちろん、学校生活においてもより一層安全に留意して生活しなければならない状況となっています。このような状況をみると、「危機管理意識を高め、自身の身の安全(いのち)を守る」という視点は、小さいうちから一人ひとりがしっかりと身につけなければならない、とても重要な視点であると考えます。

学校では、今後も子どもたちへの安全指導をしっかりと行うことはもちろん、保護者の皆様へも「お手紙」や「あんしん・あんぜんメール」、「学校ホームページ」等を活用しながら情報を発信し、常に子どもたちの安全を最優先に考えながら対応するように努めてまいります。ご家庭におかれましても、「雨の日の安全な登下校の仕方」、「交通事故にあわないために注意すること」、「災害発生の可能性がある時の行動の仕方」等、「いのちを守る」という視点においてお話を深めていただき、子どもたちの危機管理意識を高めていただければと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。



＜強風で落下したくすの木の枝＞

「校内夏休み作品展」を開催しました。

9月7日(水)～9日(金)の3日間、体育館にて「校内夏休み作品展」を開催しました。佐世保市は今年度から新しい3学期制となり、夏休みも少し短くなりましたが、子どもたちは絵画・工作・自由研究・習字作品等々、積極的に様々な作品作りにチャレンジし、素晴らしい作品を仕上げていました。

特に今年度は、模造紙や画用紙・冊子形式等、まとめ方を工夫した自由研究が数多く展示されているように感じられます。どの作品も、自身の興味関心をもとに課題を設定し、調べ方やまとめ方を工夫しながら課題解決に取り組んだ内容が表現されており、子どもたちのがんばりがとてもよく伝わってきました。また、全ての作品に、子どもたちの一生懸命な取組がしっかりと表れていました。

短い期間でしたが、多くの保護者の皆様にご鑑賞いただき、本当にありがとうございました。ご家庭でも、ぜひ子どもたちのがんばりを褒めてあげてください。どうぞよろしくお願ひいたします。

